

書道パフォーマンスグランプリ Q&A

Q：応募時に動画は全ての出場校が提出しなければいけませんか

A：すべての応募校は、動画データの提出を規定の日付までに規定の方法で提出する必要があります

Q：提出する動画については、最初から最後まで同じ場所から撮らなくてはいけませんか

A：極力正面に近い定点から全体が映るようにカメラを設置し、最初から最後まで途中ズームを使わずに、カメラの振りなども行わず、通して撮影を行ってください。カメラを三脚などで固定して撮影することが理想ですが、手持ちでの撮影による多少の手ぶれ等は規定に違反しません

Q：提出用の動画は新たに撮影する必要がありますか

A：開催要項に記載してある要件を満たしている動画であれば、新たに撮影し直す必要はありません。出演者の構成、撮影日、撮影方法などをご確認ください

Q：提出用の動画の内容と大会（予選）の演技内容は同じでなくてはいけませんか

A：同じである必要はありません。また出演者も要件を満たしていれば同じである必要もありません

Q：演技開始以前に揮毫面に細工・色付け・折り目などの加工、物品の配置などをした場合審査除外となるとありますが、文鎮やハンドスプレー、型紙なども同様に演技開始前に配置をすることはいけませんか

A：如何なる物も演技開始前に揮毫面に配置をした場合審査除外となります

Q：演技開始時に選手が揮毫用紙上に入ってはいけないとありますが、演技開始時に揮毫用紙の近くに立つこともいけませんか

A：揮毫用紙に触れないで用紙の近くに立つことは問題ありません

Q：揮毫用紙はザラ面が表側（揮毫面）と規定されていますが、ツヤ面を表側（揮毫面）とすることはできないですか

A：当大会ではザラ面を表側（揮毫面）として使っていただくこととしていますので、ツヤ面側への揮毫はできません

Q：演技時間が7分を超えた場合減点とありますが、演技時間の定義を教えてください

A：演技開始時一番最初に言った「お願いします」の言い終わりから、審査員への作品を垂直に掲示を行ったあとで演技終了時の最後の「ありがとうございました」の言い終わりまでが演技時間です。「お願いします」を2回発声する場合は1回目の言い終わりが演技時間の開始で、「ありがとうございました」を2回発声する場合は、2回目の発声の言い終わりが演技終了時間となります

Q：作品を垂直に立てて審査員へ掲示することをせずに終了の発声をした場合は、減点とありますが、どのような場合が減点となりますか

A：下記の4点が上記項目に該当する減点対象となります

- ・審査員へ作品を垂直に掲示する前、つまり判定員の赤色の旗が上がる前に終了の発声をした場合（審査員への掲示の前に終了の発声をしたため）
- ・審査員へ作品を斜めに立てるなどして垂直に掲示せずに、つまり判定員の赤色の旗が上がる前に終了の発声をした場合（審査員への掲示をせずに終了の発声をしたため）
- ・審査員へ作品を垂直に掲示した後、つまり判定員の赤色の旗が上がったが終了の発声をしなかった場合（終了の発声をしなかったため）
- ・審査員へ作品を斜めに立てるなどして垂直に掲示せずに、つまり判定員の赤色の旗が上がり、終了の発声もしなかった場合（審査員への掲示も終了の発声もしなかったため）

Q：参加料は必要ですか

A：参加料は必要ありません

Q：用紙に掲示用のポールを取り付ける際は、事務局が準備したガムテープを使用することとありますが、どのようなガムテープが用意されているのでしょうか

A：白色の布製ガムテープを用意しています

Q：用紙にポールを取付ける際のガムテープは事務局が用意したものをを使用することとありますが、例えば用紙裏面に掲示補助用の袋を取り付ける際などにも、事務局が用意したガムテープを使用する必要がありますか

A：用紙にポールを取付ける場合のみ、事務局が用意したガムテープを使わなくてはならないと規定されていますので、袋などを取り付ける際は各校様が持ち込んだテープを使用することは可能です